

2018年6月13日

**独自の音場創生技術とAI技術とを融合した革新的サラウンド体験「SURROUND:AI」を新搭載。
シネマ DSP HD³、Dolby Atmos^{®*1} & DTS:X^{TM*2} にも対応したハイクラス AV レシーバー**

AVENTAGE ヤマハ AV レシーバー

『RX-A3080』 『RX-A2080』 『RX-A1080』

ヤマハ株式会社は、独自の音場創生技術とAI(人工知能)技術とを融合して視聴コンテンツのシーンに応じた音場効果を自動的に創出する革新的サラウンド体験「SURROUND:AI(サラウンド エーアイ)」を新たに搭載したハイクラスAVレシーバー「AVENTAGE」の第8世代モデルとして、11.2chプリアウト対応9.2chモデル『RX-A3080』、9.2chモデル『RX-A2080』および7.1chモデル『RX-A1080』の3機種を8月下旬より全国で発売いたします。

*1: Dolby Atmos[®](ドルビーアトモス) = ドルビーラボラトリーズ社が開発した3次元サラウンドフォーマット。

*2: DTS:XTM(ディーティーエス エックス) = DTS社が開発した3次元サラウンドフォーマット。

AVENTAGE

AVENTAGE(アベンタージュ)は、音・臨場感・操作性の色褪せない本質を追求するヤマハのハイクラス AV コンポーネントシリーズです。いつまでも飽きの来ないナチュラルな音質と優れた操作性、独自の音場創生技術に裏付けられた圧倒的な臨場感を、ヤマハのクラフトマンシップによって実現しています。

<価格と発売時期>

品名	モデル名	色	本体価格	当初月産予定台数	発売時期
AVレシーバー	RX-A3080	(H)チタン、(B)ブラック	280,000円(税抜)	5,000台	8月下旬
AVレシーバー	RX-A2080	(H)チタン	200,000円(税抜)	500台	8月下旬
AVレシーバー	RX-A1080	(H)チタン、(B)ブラック	140,000円(税抜)	8,000台	8月下旬

<製品の概要>

今回発売する『RX-A3080』『RX-A2080』『RX-A1080』は、3次元立体音場創生の最高峰「シネマ DSP HD³(エイチディ キュービック)」や計24種類の充実したシネマ DSP 音場プログラム、64bit プレジジョン EQ^{*1}採用の高精度「YPAO(Yamaha Parametric Room Acoustic Optimizer)」など、ハイエンドモデルの開発成果を盛り込んだハイクラスAVレシーバー「AVENTAGE」の第8世代モデルです。独自の音場創生技術とAI(人工知能)技術とを融合した革新的サラウンド体験「SURROUND:AI」を新たに搭載することで、視聴するコンテンツのシーンごとに最適化した音場効果を自動的にかつリアルタイムに創出。常に理想的な音場効果でコンテンツへの没入感を最大化することが可能となりました。さらに、Dolby Atmos[®]& DTS:XTMと「シネマ DSP HD³」または「SURROUND:AI」との掛け合わせ再生にも対応し、3次元サラウンドの潜在能力をいっそう大きく引き出します。加えて、DSD 11.2MHz ダイレクトや AIFF/WAV 384kHz/32bit^{*2}をサポートし、Deezer HiFiをはじめとする音楽配信サービスにも対応した高音質ネットワークオーディオ、Dolby Vision^{TM*3}や Hybrid Log-Gamma^{*4}などの HDR^{*5}映像伝送が可能な HDMI 端子も全機種に装備しています。

*1: RX-A3080 には 64bit ハイプレジジョン EQ、RX-A2080/A1080 には 64bit プレジジョン EQ を採用しています。 *2: 32bit float ファイルには非対応。また 384kHz 音源は RX-A3080 がダイレクト再生、RX-A2080/A1080 では 192kHz ダウンサンプリング再生となります。 *3: Dolby VisionTM(ドルビービジョン) = ドルビーラボラトリーズ社が開発した HDR 技術。 *4: Hybrid Log-Gamma(ハイブリッドログガンマ) = NHK と英国 BBC が共同提案する放送向け HDR 方式。 *5: HDR(ハイダイナミックレンジ)映像伝送 = 従来よりも幅広い明暗のダイナミックレンジを持つ映像信号の伝送を可能にする技術。

<RX-A3080 主な特長>

1. 臨場感

●**独自の音場創生技術とAI技術とを融合した革新的サラウンド機能「SURROUND:AI」**
視聴するコンテンツのシーンに応じた音場効果を自動的に創出する革新的サラウンド体験「SURROUND:AI」を新たに搭載しました。視聴中のコンテンツに含まれるセリフやBGM、環境音、効果音などの音の要素に注目してAI(人工知能)がシーンの種類を自動的に分析し、視聴するコンテンツのシーンごとに最適な音場効果を創出。音場などの設定をユーザーが選択する必要がなく、常に理想的な音場効果でコンテンツへの没入感を最大化することが可能となりました。なお、この「SURROUND:AI」は Dolby Atmos[®]または DTS:X[™](後述)との掛け合わせ再生にも対応しています。



●**Dolby Atmos[®] & DTS:X[™] 対応デコーダー(最大 7.2.4ch スピーカー構成まで対応)**



Dolby Atmos[®]とDTS:X[™]、ふたつの3次元サラウンドフォーマットに対応したサラウンドデコーダーを搭載しました。個々の音を、頭上を含めた室内のどの位置にも定位または移動させ、3次元的な音響空間を自在に創り上げることのできるこの技術への対応により、リアルな包囲感や移動感を家庭のシアタールームで楽しめます。『RX-A3080』は 5.2.2ch、5.2.4ch、7.2.2ch、7.2.4ch*の4種類のスピーカー構成に対応し、プレゼンスピーカーの設置位置は「フロントハイト」、「オーバーヘッド」、「ドルビーイネーブルドスピーカー」の3パターンから選択できます。

*:7.2.4ch再生を行うには2ch分の外部パワーアンプが必要です。



「フロントハイト」設定画面例



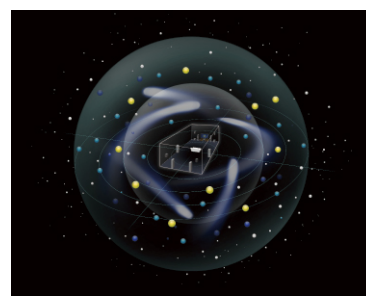
「オーバーヘッド」設定画面例



「ドルビーイネーブルドスピーカー」設定画面例

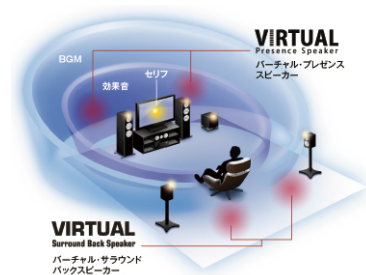
●**シネマDSP HD³とDolby Atmos[®] & DTS:X[™]との掛け合わせ再生を実現**

フロント/リアプレゼンスピーカーを含む最大11.2chスピーカー構成と、通常のシネマDSPを大きく上回る情報密度を駆使して、高さ方向を含む空間情報の完全再現を目指す3次元立体音場創生の最高峰、シネマDSP HD³(エイチディ キュービック)。そのシネマDSP HD³サラウンドプログラムと3次元サラウンドフォーマット(Dolby Atmos[®]およびDTS:X[™])との掛け合わせ再生を実現しました。搭載のシネマDSP音場プログラムは計24種類で、3次元サラウンドを含む新旧さまざまなコンテンツに最適な音場を選択できます。さらに、既設のサラウンドスピーカーを利用して仮想のサラウンドバックスピーカーを生成するバーチャル・サラウンドバックスピーカー機能や、仮想のプレゼンスピーカーを空間上に生成するバーチャル・プレゼンスピーカー機能/バーチャル・リアプレゼンスピーカー機能*も装備しています。



シネマDSP HD³音場概念図

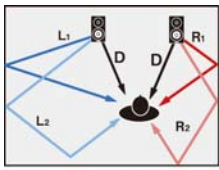
*:Dolby Atmos[®]および DTS:X[™] 信号はバーチャル再生されません。また、バーチャル・リアプレゼンスピーカー機能はフロントプレゼンスピーカー接続時に限り有効です。



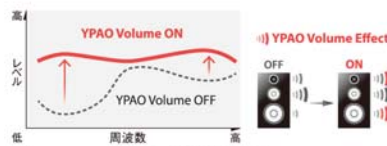
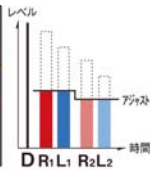
●より明確な視聴環境改善効果をもたらす 64bit ハイプレジション EQ 採用の高精度「YPAO」

64bit 演算によりイコライジング処理を高精度化した 64bit ハイプレジション EQ など、ハイエンドモデルの開発成果を盛り込むことで音の品位を高めた視聴環境最適化システム「YPAO」(Yamaha Parametric Room Acoustic Optimizer)を搭載しました。部屋固有の初期反射音を積極的に制御して視聴環境を最適化する「YPAO-R.S.C.*」、その計測結果に基づき再生時の周波数特性が音量に応じて聴感上フラットになるようにコントロールする「YPAO Volume」、各スピーカーの距離と方角、プレゼンスピーカーの高さを自動計測することで音場空間を立体的に補正する「YPAO 3D 測定」を含む総合的な測定・補正プロセスによって、ハイトスピーカーの位置や仕様、室内環境によってサラウンド効果が影響を受けやすい3次元サラウンド再生の課題を克服。音の質的变化を最小限に抑えながら、より明確な視聴環境改善効果をもたらします。

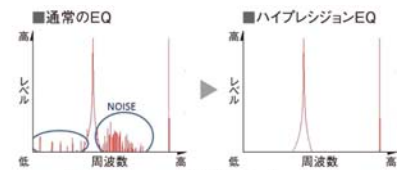
* :R.S.C.= Reflected Sound Control



「YPAO-R.S.C.」の動作イメージ(概念図)



「YPAO Volume」の効果(概念図)



ハイプレジションEQの効果(概念図)

2. 高音質

●ESS 社製 D/A コンバーター「ES9026PRO」+「ES9007S」を採用

D/A コンバーターには、さらなる高ダイナミックレンジと低歪率を追求した ESS 社製 D/A コンバーター「ES9026PRO」と、同じく ESS 社製の「ES9007S」を組み合わせ採用しました。ローム社との共同開発による高精度電子ボリューム、ルビコン社とのコラボレーションで専用に音質調整されたオリジナル PML(薄膜高分子積層)コンデンサーなどを駆使した入念な音質チューニングとも相まって、微小信号のより忠実な再現性を獲得しています。



ESS社製D/Aコンバーター「ES9026PRO」

●独自の機構設計ノウハウを集約したダブルボトム構造の制振・高剛性シャーシ

これまでヤマハが培ってきた機構設計のノウハウを集約し、理想の機械的強度と重量バランスを発揮する左右対称コンストラクション、H 型クロスフレーム、リジッドボトムフレームにダブルボトム構造を組み合わせた本機専用の制振・高剛性シャーシを採用しました。AVENTAGE AV レシーバーの特長のひとつ、アンチレゾナンステクノロジー(Anti Resonance Technology)思想に基づく〈5 番目の脚〉(底面中央の 1 脚)と特製メタルレッグ(〈5 番目の脚〉を除く 4 脚)が、設置安定性を高めて筐体の共振を分散するとともに電源トランスの微細な振動をも抑制し、力強くフォーカスの合ったサウンドを再現します。



アンチレゾナンステクノロジー思想に基づく〈5番目の脚〉

●ディスクリート 9ch パワーアンプ、4 回路分離パワーサプライなど

AVENTAGE 最高基準の高音質設計

左右対称レイアウトのフルディスクリート構成 9ch ハイパワーアンプ、デジタル入力信号の精度を高めるウルトラロージッターPLL 回路、オーディオ入力部と D/A コンバーター部との電位差を解消して微小信号の再生品位を高める D.O.P.G.(DAC on Pure Ground)コンセプトなど、AVENTAGE 最高基準の高音質設計を採用しました。パワーサプライ部はオーディオ回路用、デジタル回路用、アナログ映像回路用、FL ディスプレイ回路用をそれぞれ独立させてステージ間の相互干渉を防ぐ 4 回路分離型としています。給電経路を最短化してローインピーダンス化を徹底するとともに、音質に影響を与える磁場効果も給電レイアウトの工夫によりキャンセルすることで、音の瞬発力とリアリティをより向上させました。



3. 映像関連

●HDR、BT.2020、HDCP2.2、4K/60pパススルー & 4Kアップスケーリングに対応した7入力/3出力のHDMI端子

HDR映像伝送やBT.2020映像伝送、HDCP2.2、4K/60p 4:4:4映像信号のパススルー/4Kアップスケーリングに対応した7入力/3出力のHDMI端子を装備しました。広範な色域と大きく拡張されたダイナミックレンジによって華やかな色彩や豊かなディテールを再現する高画質技術「Dolby Vision™」、放送局が推奨するHDR方式「Hybrid Log-Gamma」、これまでのオーディオリターンチャンネル(ARC)機能に加えてロスレス音声やオブジェクトオーディオも伝送可能とした eARC*にも対応し、Ultra HD Blu-ray プレーヤーなど複数の対応機器を接続して画質を損なうことなく楽しめます。



* : eARC=テレビと本機とを1本のHDMIケーブルで接続し、テレビに入力されたロスレス音声やオブジェクトオーディオを含むテレビ側音声を本機へ伝送できる機能。(ファームウェア更新により対応予定)

4. ネットワークオーディオ機能

●DSD 11.2MHz ダイレクト、AIFF/WAV 384kHz/32bit ダイレクト*、Apple Lossless 96kHz/24bit をサポートするハイレゾ再生

ジッターノイズの発生を大幅に低減してハイレゾ音源特有のデリケートな音の違いも忠実に描き分けるヤマハオリジナル・ネットワークモジュールを搭載したネットワークオーディオ部は、DSD 11.2MHz ダイレクト、AIFF/WAV 384kHz/32bit ダイレクト*、FLAC 384kHz/24bit ダイレクト、Apple Lossless 96kHz/24bit 再生をサポートします。内蔵Wi-Fiは新たに5GHz帯にも対応し、いっそう快適なワイヤレス音楽再生を実現しました。

* : 32bit float ファイルには非対応。

●Deezer HiFi、Spotify、radiko.jp に対応

約3,600万曲をCD相当(FLAC 44.1kHz/16bit)の高音質でストリーミング聴取できる高品位音楽配信サービス「Deezer HiFi*¹」(ディーザー ハイファイ)をはじめ、音楽配信サービス「Spotify」(スポティファイ)、IPサイマルラジオ配信サービス「radiko.jp*²」に対応。このうち、「Spotify」のストリーミング聴取は「Spotify Connect*³」(スポティファイ コネクト)機能を利用すればいっそう便利に楽しめます。



*1: Deezer HiFi は月額制の有料サービスで、利用には別途契約が必要です。また本機でDeezer HiFiを聴取するには、ヤマハが提供する操作アプリ「MusicCast CONTROLLER」(無償)のインストールが必要です。

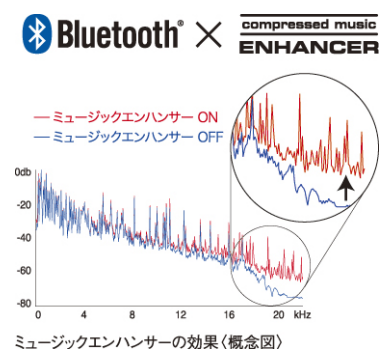
*2: radiko.jp(無料のエリア内聴取)とradiko.jp プレミアム(有料のエリアフリー聴取)に対応。使用には「MusicCast CONTROLLER」アプリのインストール、およびプレミアム会員登録(radiko.jp プレミアム利用時のみ)が必要です。

*3: Spotify Connect の利用には、Spotify アプリ(無料)のインストールと Spotify Premium アカウント(有料)への登録が必要です。

5. ユーティリティ機能

●Bluetooth 4.2 規格に準拠したAAC 対応 Bluetooth®オーディオ機能

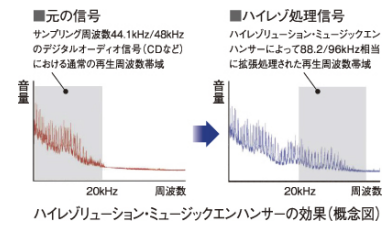
内蔵のBluetooth®オーディオ受信機能は新たにBluetooth 4.2規格に準拠しました。音声コーデックは標準のSBCのほか高音質のAACフォーマットにも対応しており、さらにBluetooth®対応ミュージックエンハンサーと組み合わせることで、高音域の情報量や低音域の明瞭度が失われがちな圧縮音声を効果的に補正(右図参照)。奥行きのあるクリアな音質を実現しています。なおミュージックエンハンサーはBluetooth®だけでなく、FM/AMラジオ放送などのアナログ音源や5.1chデジタルテレビ放送などのマルチチャンネル音源にも対応しています。



ミュージックエンハンサーの効果(概念図)

●**聴き慣れたオーディオソースに新たな魅力を与えるハイレゾリューション・ミュージックエンハンサー**

2ch ステレオの非圧縮(CD、WAV、AIFF)および可逆圧縮(FLAC、Apple Lossless) 音声を最大 96kHz/24bit 分解能まで拡張処理するハイレゾリューション・ミュージックエンハンサーを搭載しました。ナチュラルな音質改善効果を目指した独自のアルゴリズムにより、CD などの聴き慣れたオーディオソースに新たな魅力を与えます。



●**聴く楽しさを家中に広げるヤマハ独自のワイヤレスネットワーク機能「MusicCast®」**

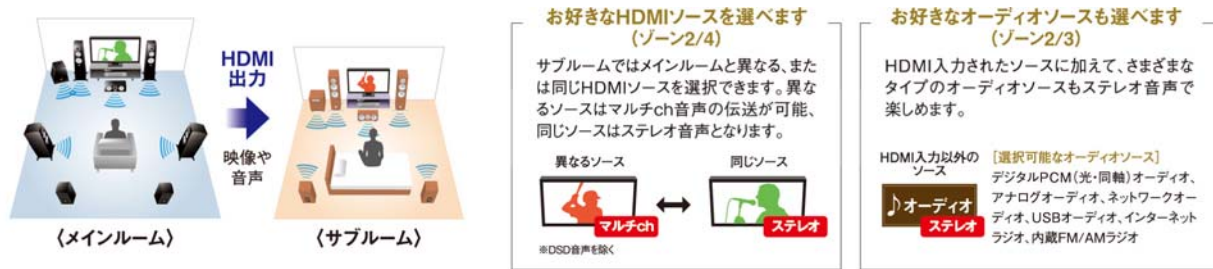
家庭内に設置した複数の MusicCast 対応音響機器の操作や、対応機器間での音楽コンテンツの共有などがひとつのアプリで行えるヤマハ独自のワイヤレスネットワーク機能「MusicCast®」(ミュージックキャスト)に対応しました。専用の「MusicCast CONTROLLER」アプリをお手持ちのスマートフォン/タブレットにインストールすれば、MusicCast 対応機器*1 と本機との間で音楽コンテンツの配信・共有・リンク(同期)再生を簡単に行うことができます。加えて、本機の電源をオンにすると、本機とリンクしたすべての MusicCast 対応機器の電源が連動してオンになり、アプリを立ち上げなくても共通のコンテンツを複数の場所で同時に聴くことができるトリガー再生機能も装備しています。



* : 対応機器などの詳細は当社製品サイトでご確認ください。 https://jp.yamaha.com/products/contents/audio_visual/musiccast/

●**別室で映画の続きを観たり、お好みのオーディオソースが聴ける HDMI 対応アドバンスドゾーンスイッチング**

メインルームと同じ、または別のソースを選んで別室の HDMI 対応テレビやホームシアターに HDMI 伝送したり、HDMI 入力以外のオーディオソース(デジタル/アナログ音声、ネットワーク音声、FM/AM ラジオ)を別室に伝送できるアドバンスドゾーンスイッチングを装備しました。各ゾーンの切り換えは本体またはリモコンのボタンのほか、専用アプリ「AV CONTROLLER」でも操作できます。さらにゾーン 2/3 については、メインゾーンで聴いているソースと同じものを常に再生する「メインゾーンシンク」入力に対応し、サブルーム側で入力切り替え操作をすることなくルーム間でのコンテンツ共有が可能のほか、ゾーン 2 で再生している音声を別の MusicCast 対応機器でリンク再生できる「ゾーン 2 リンクマスター*」機能にも対応しています。



* : 「ゾーン 2 リンクマスター」機能はメインゾーンの電源がオフの状態でも使用できます。

6. 5年間の長期製品保証

長期間にわたり安心してご愛用いただけるよう、お買い上げ日より5年間のメーカー製品保証を標準で付与しています。

【RX-A2080 主な特長】

- ・独自の音場創生技術と AI 技術とを融合した革新的サラウンド体験「SURROUND:AI」
- ・Dolby Atmos® & DTS:X™ 対応デコーダー（最大 7.2.2ch スピーカー構成まで対応）
- ・シネマ DSP HD³ と Dolby Atmos® & DTS:X™ との掛け合わせ再生を実現
- ・24 種類のシネマ DSP 音場プログラムを搭載。うち 6 種類には新 4 音場処理アルゴリズムを採用
- ・より明確な視聴環境改善効果をもたらす 64bit プレジジョン EQ 採用の高精度「YPAO」
- ・ESS 社製「ES9007S」を 2 基搭載し、音の静寂性と微小信号の再現性を追求した D/A コンバーター部
- ・独自の機構設計ノウハウを集約した制振・高剛性シャーシ*
*：左右対称コンストラクション、H 型クロスフレーム、リジッドボトムフレーム、アンチレゾナンスレグ、〈5 番目の脚〉などを採用。ダブルボトム構造は採用しておりません。
- ・ディスクリート 9ch パワーアンプ、4 回路分離パワーサプライなど AVENTAGE 基準の高音質設計
- ・HDR、BT.2020、HDCP2.2、4K/60p パススルー & 4K アップスケーリングに対応した 7 入力/3 出力の HDMI 端子
- ・高精度ロージッタークロック内蔵のヤマハオリジナル・ネットワークモジュール
- ・DSD 11.2MHz ダイレクト、AIFF/WAV 384kHz*¹/32bit*²、FLAC 384kHz*¹/24bit、
Apple Lossless 96kHz/24bit をサポートするハイレゾ再生
*¹：192kHz にダウンサンプリングして再生します。*²：32bit float ファイルには非対応です。
- ・Deezer HiFi、Spotify、radiko.jp に対応
- ・Bluetooth4.2 規格に準拠した AAC 対応 Bluetooth®オーディオ機能
- ・聴き慣れたオーディオソースに新たな魅力を与えるハイレゾリューション・ミュージックエンハンサー
- ・聴く楽しさを家中に広げるヤマハ独自のワイヤレスネットワーク機能「MusicCast®」
- ・別室で映画の続きを観たり、お好みのオーディオソースが聴ける HDMI 対応アドバンスドゾーンスイッチング
- ・5 年間の長期製品保証

【RX-A1080 主な特長】

- ・独自の音場創生技術と AI 技術とを融合した革新的サラウンド体験「SURROUND:AI」
- ・Dolby Atmos® & DTS:X™ 対応デコーダー（最大 5.2.2ch スピーカー構成まで対応）
- ・シネマ DSP HD³ と Dolby Atmos® & DTS:X™ との掛け合わせ再生を実現
- ・24 種類のシネマ DSP 音場プログラムを搭載。うち 6 種類には新 4 音場処理アルゴリズムを採用
- ・より明確な視聴環境改善効果をもたらす 64bit プレジジョン EQ 採用の高精度「YPAO」
- ・ESS 社製「ES9007S」を搭載し、音の静寂性と微小信号の再現性を追求した D/A コンバーター部
- ・独自の機構設計ノウハウを集約した制振・高剛性シャーシ*
*：左右対称コンストラクション、H 型クロスフレーム、リジッドボトムフレーム、アンチレゾナンスレグ、〈5 番目の脚〉などを採用。ダブルボトム構造は採用しておりません。

- ・ディスクリート 7ch パワーアンプ、4 回路分離パワーサプライなど AVENTAGE 基準の高音質設計
- ・HDR、BT.2020、HDCP2.2、4K/60p パススルー & 4K アップスケーリングに対応した 7 入力/3 出力の HDMI 端子
- ・高精度ロージッタークロック内蔵のヤマハオリジナル・ネットワークモジュール
- ・DSD 11.2MHz ダイレクト、AIFF/WAV 384kHz*¹/32bit*²、FLAC 384kHz*¹/24bit、Apple Lossless 96kHz/24bit をサポートするハイレゾ再生
* 1:192kHz にダウンサンプリングして再生します。* 2:32bit float ファイルには非対応です。
- ・Deezer HiFi、Spotify、radiko.jp に対応
- ・Bluetooth4.2 規格に準拠した AAC 対応 Bluetooth[®]オーディオ機能
- ・聴き慣れたオーディオソースに新たな魅力を与えるハイレゾリミューション・ミュージックエンハンサー
- ・聴く楽しさを家中に広げるヤマハ独自のワイヤレスネットワーク機能「MusicCast[®]」
- ・別室で映画の続きを観たり、お好みのオーディオソースが聴ける HDMI 対応アドバンスドゾーンスイッチング
- ・5 年間の長期製品保証

【RX-A3080/A2080/A1080 その他の特長・機能】 ●家庭内ネットワークへ無線 LAN 経由で接続できる Wi-Fi 機能 ●FM 補完放送も受信できる 40 局プリセット対応ワイド FM/AM チューナー ●お気に入りのインターネットラジオ局をストレスなく呼び出せるブックマーク & オートプレイ ●コンパクトスピーカーの音に重低音の力感や躍動感をプラスする Extra Bass ●フロントバイアンプ駆動とフロントプレゼンススピーカーを併用できるパワーアンプアサイン (RX-A3080/A2080) ●本機側で音量調節が可能なゾーン 2 プリアウト ●聴取ゾーンごとに音質をカスタマイズできるゾーン Extra Bass とゾーン Volume EQ ●再生音量に応じて DSP 効果を自動調整し、常に最適な臨場感が得られる A-DSP 技術 ●入力ソースやボリューム位置に合わせてダイナミックレンジを自動調整し、小音量再生時にも明瞭なサウンドが楽しめる A-DRC 技術 ●お手持ちのヘッドホンでサラウンド再生が楽しめるサイレントシネマ ●音声信号経路を最短化して入力ソースの音をありのままに再現するピュアダイレクトモード ●HDMI コントロール/スタンバイスルーオフ、ネットワークスタンバイオフ時の待機時消費電力 0.1W の省電力設計 ●一定時間使用しないと自動的に電源がオフになり、電源の切り忘れを防止するオートスタンバイ (20 分、2/4/8/12 時間に設定可能) ●MM カートリッジ対応フォノ入力 ●新デザインの GUI 画面 (HD フォント & アイコンを採用) による多言語対応 OSD (オンスクリーン・ディスプレイ) ●直感的な操作を実現する新デザインのバックライト付きワイヤレスリモコンを付属 ●WPS (プッシュボタン/PIN コード) または iOS 設定共有により無線 LAN を簡単設定

【体験視聴会について】

6 月 16 日 (土)、17 日 (日) に東京国際フォーラムで開催される「OTOTEN 2018」のヤマハブースにて、『RX-A3080』の体験視聴会を実施いたします。詳細は、下記のホームシアター・オーディオ製品情報サイトのイベント情報でご確認ください。

https://jp.yamaha.com/products/contents/audio_visual/experience/event/#oto

<RX-A3080/A2080/A1080 機能比較>

型番		RX-A3080	RX-A2080	RX-A1080	
筐体	左右対称コンストラクション	○	○	○	
	アンチレゾナンステクノロジーによる(5番目の脚)	○	○	○	
	リジッドボトムフレーム	○	○	○	
	H型クロスフレーム	○	○	○	
	ダブルボトムコンストラクション	○	—	—	
	特製メタルレッグ	○	—	—	
	アンチレゾナンスレッグ	—	○	○	
オーディオ部	D.O.P.G.コンセプト	○	○	○	
	DSP デバイス	3基	3基	3基	
	DAC	ESS ES9026PRO×1、 ES9007S×1	ESS ES9007S×2	ESS ES9007S×1	
	ブロックメモリ容量	18,000μF×2	12,000μF×2	9,800μF×2	
	ウルトラロージッターPLL回路	○	○	○	
音場処理関連	SURROUND:AI	○	○	○	
	シネマ DSP HD ³	HD ³	HD ³	HD ³	
	シネマ DSP プログラム数	24	24	24	
	DolbyAtmos [®] /DTS:X [™] と シネマ DSP HD ³ の掛け合わせ再生	○	○	○	
	最大拡張 ch 数	11	9	7	
	VPS(バーチャル・プレゼンス スピーカー)	Front Presence	○(ダイアログリフトも可)	○(ダイアログリフトも可)	○(ダイアログリフトも可)
		Rear Presence	○	○	○
	VSBP(バーチャル・サラウンドバックスピーカー)	○	○	○	
	DSP エフェクトレベルノーマライズ	○	○	○	
YPAO	YPAO-R.S.C./ハイプレジジョン EQ	○/○	○/○(プレジジョン EQ)	○/○(プレジジョン EQ)	
	YPAO Volume	○	○	○	
	マルチポイント計測(8地点)	○	○	○	
	YPAO 3D 測定	○	○	—	
音声関連	コンプレッドミュージックエンハンサー	○	○	○	
	ハイレゾリューションミュージックエンハンサー	○(up to 96/24, 2ch)	○(up to 96/24, 2ch)	○(up to 96/24, 2ch)	
	DSD ダイレクト再生	○	○	○	
	ジッター除去レベル調整機能	○	—	—	
ネットワーク機能	ギャップレス再生	○	○	○	
	AirPlay/ミュージックプレイ	○/○	○/○	○/○	
	機器連携	○(MusicCast [®] 機能)	○(MusicCast [®] 機能)	○(MusicCast [®] 機能)	
	ストリーミングサービス	○(radiko、Spotify Connect、 Deezer HiFi 対応)	○(radiko、Spotify Connect、 Deezer HiFi 対応)	○(radiko、Spotify Connect、 Deezer HiFi 対応)	
	ウェブブラウザコントロール	○	○	○	
映像関連	HDMI パススルー	4K/60p 4:4:4、BT.2020、HDR(HDR10、Dolby Vision [™] 、Hybrid Log-Gamma)伝送			
	4K アップスケーリング	○	○	○	
	アナログ to HDMI ビデオコンバージョン	○(4K 対応)	○(4K 対応)	○(4K 対応)	
	ディテール&エッジ強調	○	○	—	
	映像信号調整(コントラスト/輝度/色の濃さ)	○	○	—	
ゾーン機能	オーディオ出力(リアアウト)	○ZONE2、3	○ZONE2、3	○ZONE2	
	スピーカー出力	○ZONE2、3	○ZONE2、3	○ZONE2	
	HDMI 出力	○ZONE2、4	○ZONE2、4	○ZONE2	
	映像出力	○ZONE2、4 (ZONE4はHDMI出力のみ)	○ZONE2、4 (ZONE4はHDMI出力のみ)	○ZONE2	
シーン機能	SCENE PLUS	8パターン	8パターン	8パターン	
	コンテンツ登録	○	○	○	
アプリ	AV CONTROLLER 対応	○	○	○	
	MusicCast CONTROLLER 対応	○	○	○	
チューナー	AM/FM(ワイド FM 対応)	AM/FM(ワイド FM 対応)	AM/FM(ワイド FM 対応)		
ECO モード	○	○	○		

<RX-A3080/A2080/A1080 主な仕様>

型番		RX-A3080	RX-A2080	RX-A1080
定格出力	20Hz-20kHz、2ch 駆動	165W/ch(6Ω、0.06%THD)	150W/ch(6Ω、0.06%THD)	120W/ch(6Ω、0.06%THD)
	1kHz、1ch 駆動	200W/ch(6Ω、0.9%THD)	190W/ch(6Ω、0.9%THD)	140W/ch(6Ω、0.9%THD)
実用最大出力(JEITA)	1kHz、1ch 駆動	230W/ch(6Ω、10%THD)	220W/ch(6Ω、10%THD)	170W/ch(6Ω、10%THD)
内蔵パワーアンプ数		9	9	7
音声入力端子	アナログ	10 系統: RCA 9(前面入力 1、PHONO1 含む)、 XLR バランス 1(1:アース、2:HOT、 3:COLD)	9 系統:RCA 9(前面入力 1、PHONO1 含む)	
	デジタル	6 系統:光 3、同軸 3		
音声入力端子(その他)		2 系統:USB*1、ネットワーク 1(Ethernet) * USB メモリー内ファイルの音声再生用。USB DAC としての機能はありません。		
映像入力端子		6 系統:コンポジット 4、コンポーネント 2		
音声出力端子	スピーカー出力	9ch(11 端子) フロント L/R、センター、サラウンド L/R、サラウンドバック L/R (EXTRA SP1)フロントプレゼンス/ZONE2/ZONE3/BI-AMP (EXTRA SP2)リアプレゼンス/フロントプレゼンス/ZONE2/ZONE3	7ch(9 端子) フロント L/R、センター、サラウンド L/R、 サラウンドバック L/R (EXTRA SP1)フロントプレゼンス/ ZONE2/BI-AMP (EXTRA SP2)サラウンドバック/ZONE2	
	PRE OUT	11.2ch+2ch(XLR バランス) フロント L/R、センター、サラウンド L/R、サラウンドバック L/R、フロント プレゼンス L/R (ZONE2 と排他)、 リアプレゼンス L/R (ZONE3 と排他)、 サブウーファー OUT 2 (STEREO、 フロント&リア、MONO×2)、 フロント L/R(XLR バランス)	7.2ch フロント L/R、センター、サラウンド L/R、サラウンドバック L/R、 サブウーファー OUT 2 (STEREO、フロント&リア、 MONO×2)	7.1ch フロント L/R、センター、サラウンド L/R、サラウンドバック L/R、 サブウーファー OUT 2 (MONO×2)
	その他	ヘッドホン 1		
HDMI 端子 入力		7 (HDCP2.2 に対応)		
HDMI 端子 出力		3 (HDCP2.2 に対応、同時出力可、ZONE2/4 出力可)	3 (HDCP2.2 に対応、 同時出力可、ZONE2 出力可)	
HDMI バススルー		4K/60p 4:4:4、BT.2020、HDR (HDR10、Dolby Vision™、Hybrid Log-Gamma) 伝送		
HDMI その他		4K アップスケーリング対応、アップコンバージョン対応		
Wi-Fi		2.4GHz/5GHz IEEE802.11 a/b/g/n/ac 準拠 ※IEEE802.11ac は 20MHz チャンネル帯域幅のみ		
対応音声フォーマット		DSD 11.2MHz、 Apple Lossless 96kHz/24bit、 WAV/AIFF 384kHz/32bit*1、 FLAC 384kHz/24bit、 MP3/WMA/MPEG4-AAC 48kHz	DSD 11.2MHz、Apple Lossless 96kHz/24bit、 WAV/AIFF 384kHz*2/32bit*1、FLAC 384kHz*2/24bit、 MP3/WMA/MPEG4-AAC 48kHz	
Bluetooth 再生方式	バージョン	Ver.4.2		
	対応プロファイル	A2DP/AVRCP		
	対応コーデック	SBC/AAC		
消費電力		490W		400W
待機時消費電力		0.1W (HDMI コントロール OFF/スタンバイスルーOFF/ネットワークスタンバイ OFF 時) 2.5W (HDMI コントロール ON/スタンバイスルーON/ネットワークスタンバイ ON 時)		
寸法(幅×高さ×奥行)		435W×192H×474D mm (Wi-Fi アンテナ直立時:435W×269H×474D mm)		435W×182H×439D mm (Wi-Fi アンテナ直立時: 435W×259H×439D mm)
質量		19.6kg	17.0kg	14.9kg
付属品		リモコン、単 4 乾電池(2 本)、 AM アンテナ、FM アンテナ、YPAO マイク、 YPAO 3D 測定用マイクベース/ポール、 電源コード(極太 OFC タイプ)、 取扱説明書、スタートアップガイド	リモコン、単 4 乾電池(2 本)、 AM アンテナ、FM アンテナ、 YPAO マイク、YPAO 3D 測定用 マイクベース/ポール、電源コード、 取扱説明書、スタートアップガイド	リモコン、単 4 乾電池(2 本)、 AM アンテナ、FM アンテナ、 YPAO マイク、電源コード、 取扱説明書、スタートアップガイド

*1:32bit float ファイルには非対応。

*2:192kHz ダウンサンプリング再生となります。



前面カバーオープン時



ヤマハ AV レシーバー 『RX-A3080』 カラー:(H)チタン/(B)ブラック

本体価格 280,000 円(税抜)

【製品情報】 https://jp.yamaha.com/products/audio_visual/av_receivers_amps/rx-a3080/index.html



前面カバーオープン時



ヤマハ AV レシーバー 『RX-A2080』 カラー:(H)チタン

本体価格 200,000 円(税抜)

【製品情報】 https://jp.yamaha.com/products/audio_visual/av_receivers_amps/rx-a2080/index.html



前面カバーオープン時



ヤマハ AV レシーバー 『RX-A1080』 カラー:(H)チタン/(B)ブラック

本体価格 140,000 円(税抜)

【製品情報】 https://jp.yamaha.com/products/audio_visual/av_receivers_amps/rx-a1080/index.html

※文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

<この件に関するお問い合わせ先>

■報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 メディアリレーショングループ
担当:佐藤、千葉

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/
(取材申し込みや画像ダウンロードが可能です。)

■一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン カスタマーサポート部
お客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

TEL 0570-011-808 (ナビダイヤル:全国どこからでも市内通話料金)

TEL 053-460-3409 (上記番号でつながらない場合)